

金賞を受賞した那覇市立石嶺小学校合唱団と顧問の
地下なを美教諭（左）＝9月27日、那覇市の同校（提供）



仲井真小、石嶺小 合唱で全国へ

九州コンクール大賞、金賞 来月福岡で大会

【那覇】9月23日に熊本県立劇場コンサートホールで開催された、第78回九州合唱コンクールの小学校部門で、那覇市立仲井真小学校（金城和也校長）合唱団が金賞を受賞し、小学校部門の最高に当たる朝日新聞社大賞に輝いた。那覇市立石嶺小学校（大村朝彦校長）合唱団も金賞を受賞。両合唱団は11月に福岡県で開催される全国大会の切符を手にした。

同コンクールには、九州・沖縄から地区予選を勝ち抜いた合計29団体が出場した。12団体が金賞に選ばれ、上位9団体が全

国大会に推薦された。沖縄からは8団体が出場し、両合唱団のほか、西原町立坂田小学校音楽部と八重瀬町立東風平小学校音

楽部・与那原町立与那原小学校音楽部も金賞を受賞。沖縄から合計4団体が金賞に選ばれた。坂田小は宮崎県連理事長賞を、東風平小・与那原小は大分県連理事長賞を受賞した。

仲井真小合唱団団長の新里史功さん（6年）は「みなさんの応援とみんなの頑張りで金賞をいただいた。坂田小や東風平・与那原小のみなさんが泣きながら『頑張っね』と言ってくれたから、全国大会ではその応援にもしっかり応え、全力で挑み

たい」と意気込みを語った。

石嶺小合唱団団長の岩本しずくさん（5年）は「沖縄代表としてたくさんの方々に歌を届けられてうれしかった。会場が大きくて声が届いているか不安もあったが、今まで頑張ってきたことを評価していただき、歌が届いていることを実感できた。私たちは16人で他と比べて人数が少なく圧倒されることが多かったが、そこを強みとして全国大会では楽しみながら頑張りたい」と話した。（中川廣江通信員）